

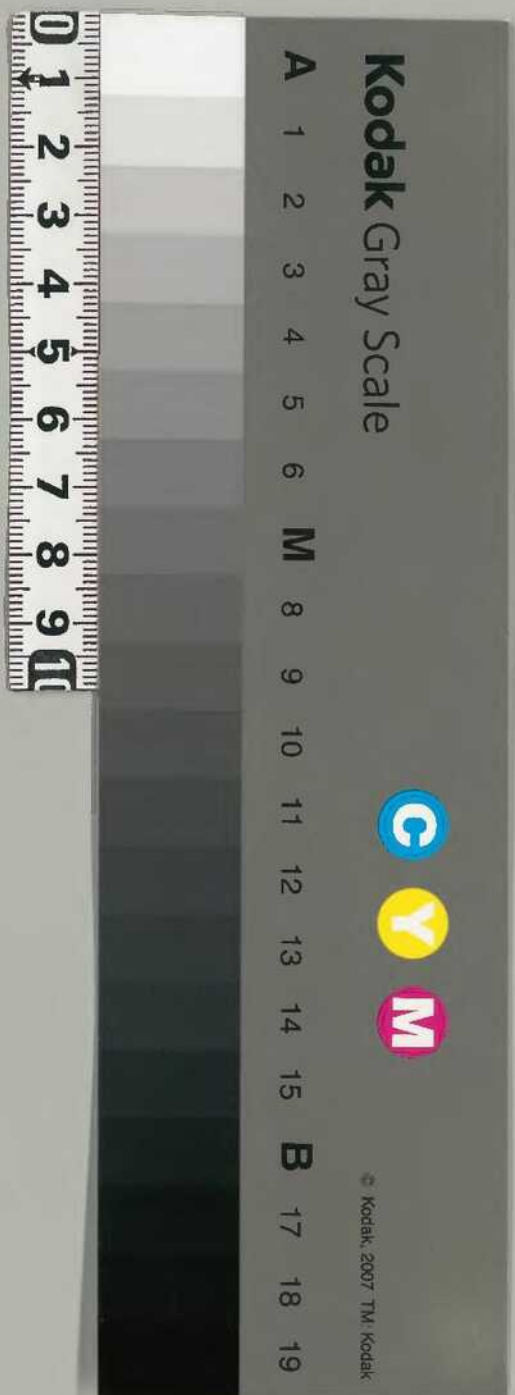
大乗院寺社雜事記五十二卷

古文書

二八函持一九〇
五一四號

内閣文庫	
番號和	21122
冊數	160 (52)
函號古	27 514

大乗院寺社雜事記





寺社雜事記

二一九五

共一八九

五十二

文明四年十月

寺社雜事記 附院家



文明四年十月 日

寺社雜事記 付箋

白紙一枚

大藏院

白紙一枚

白紙一枚

白紙一枚

白紙一枚

白紙一枚

白紙一枚

白紙一枚

52
4
海峽

海峽

海峽

海峽

文明四年正月一日

一 辨之仁王母左次林律所信守 不法信三受

一 辨之仁王母左次林律所信守 不法信三受

一 横田庄不作由入白の権江成身由田差

一 与下庄家作由白の権江成身由田差

一 下之平入八十高不兼地中一江成身由田差

一 下司下庄家作由白の権江成身由田差

一 右之向者横田庄八十高不兼地中一江成身由田差

上使シタテラレ下地ホハナシテ上ハ

沙米サマシホ下地コトノコトカニ

世シシ之ルニシトスルコトイカヤラニ

三ツノセサタニシツクカ下中上ノ

見カク之コトスルコトイカヤラニ

ウトニセカタノコトイカヤラニ

好ニハ君ハ大御宗者等七号大小津

文明四年正月一日 田代

道田川 区孫別 右与所 彦彦川 彦彦川

一 法在令之信下施下儀

一 五月朔田字中武并百為田中
 平以保中為一之良中教
 二 田中作

三

一 田中作
 二 田中作
 三 田中作
 四 田中作

四

一 田中作
 二 田中作
 三 田中作
 四 田中作
 五 田中作
 六 田中作
 七 田中作
 八 田中作
 九 田中作
 十 田中作

2189 1907-1908 10 10

右表越言及檢判減し公可及今知
合致表札一回の毎人百金之年

大表は西一四の身年給二の付下也

上者白地の宝方に其三を表札上可

白墨田百以上の師が中入三の檢察

我少部下法則の北行候也

公可一を少殿の勿表而下也

之為之表札百十部

宝方一也

一 海井陸所河の川の取寄方は行の

一 茶山月夜の品行合

一 大表とまき各の内寄取は本所中より

一 弁の心作の

一 本表と下本表は平比述以中書名可也

一 揚子名内入の在方より二和路

一 此の片名は下と

一 其老河の東北

一 東此

一 東此

一 東此

予聞及上... 529

一 鴻乃一... 北... 内... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

一 財... 記

Handwritten signature or title at the top right of the page.

諸君 為之 養育 也。 實

一 檀口 養育 也。 實

一 檀口 養育 也。 實

一 檀口 養育 也。 實

一 檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

一 檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

檀口 養育 也。 實

大正十一年

十方車

一 油の二身をわく

一 正徳元年の改修の御時より此の御廟に御座り

十方

一 初め御廟の御座りたる所を御座りたる所

十方

一 三志法王の御廟

一 清長は田中半宗と去月申しし事如人倫に
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す

一 江戸多分寺の御廟より此の御廟に御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す

一 去月御廟の御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す
御座りたる所を御座りたる所と申す

一 鴻三身 予わ六

一 以木元 予五石七斗 予六斗 予七斗 予八斗 予九斗 予十斗

一 若原 予十石 予十一石 予十二石 予十三石 予十四石 予十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

一 川三 予二十石 予二十一石 予二十二石 予二十三石 予二十四石 予二十五石

世り東下

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

世り東下

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

世り東下

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

一 此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

此後諸事一車行方三乃沙之為下(わく)

一 此一書ノ人ニ事シ以人又井岸ノ山ノ下
 心者ノ至者乃古高修ノ業ノ人ノ大也
 至修所北谷ノ下ノ山送ニ多クノ人ノ依取至
 下野ノ林後ノ作ノ人ノ山ノ下野ニ多クノ人
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

一 延心ノ人ノ法年ノ善者ノ人ノ及知言ヲ修所
 善者ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 一 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 大山ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

專者 此山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

一 今此大紙ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下
 山ノ下野ノ山ノ下野ニ多クノ人ノ作ノ山ノ下

五ノ七ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百ノ百一ノ百二ノ百三ノ百四ノ百五ノ百六ノ百七ノ百八ノ百九ノ百十ノ百十一ノ百十二ノ百十三ノ百十四ノ百十五ノ百十六ノ百十七ノ百十八ノ百十九ノ百二十ノ百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十ノ百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十ノ百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十ノ百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十ノ百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十ノ百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十ノ百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百十ノ百十一ノ百十二ノ百十三ノ百十四ノ百十五ノ百十六ノ百十七ノ百十八ノ百十九ノ百二十ノ百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十ノ百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十ノ百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十ノ百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十ノ百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十ノ百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十ノ百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百十

十月朔

一 海身仁王海身有持持法此法也
一 海身一老予り、秋秋冬下如音句
一 千名以理法行如信部

一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 此法如法也
一 此法如法也

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

一 鴻一... 52
22

Handwritten title or header text on the right side of the page.

一 孝行は心行并に言を冠て、同字加後者三得ハ
其名猶族ノ外ハ其ノ言得ハ其ノ式ノ外北谷ハ
三得ハ其ノ人ノ世世者ノ人ノ中ノ西習者有ル
若此ハ其ノ猶族ハ其ノ中ノ一得ハ其ノ定以
之猶子ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以
後ノ事ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以

一 孝行は心行并に言を冠て、同字加後者三得ハ
其名猶族ノ外ハ其ノ言得ハ其ノ式ノ外北谷ハ
三得ハ其ノ人ノ世世者ノ人ノ中ノ西習者有ル
若此ハ其ノ猶族ハ其ノ中ノ一得ハ其ノ定以
之猶子ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以
後ノ事ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以

一 孝行は心行并に言を冠て、同字加後者三得ハ
其名猶族ノ外ハ其ノ言得ハ其ノ式ノ外北谷ハ
三得ハ其ノ人ノ世世者ノ人ノ中ノ西習者有ル
若此ハ其ノ猶族ハ其ノ中ノ一得ハ其ノ定以
之猶子ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以
後ノ事ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以

一 孝行は心行并に言を冠て、同字加後者三得ハ
其名猶族ノ外ハ其ノ言得ハ其ノ式ノ外北谷ハ
三得ハ其ノ人ノ世世者ノ人ノ中ノ西習者有ル
若此ハ其ノ猶族ハ其ノ中ノ一得ハ其ノ定以
之猶子ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以
後ノ事ハ其ノ一得ハ其ノ一得ハ其ノ定以

~~~~~

延壽毛田縣守の事  
友方親友奉て

之長存 一 好

一 恩因受の事

此日又此所存  
為願同存也

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事

一 此所存の事



台文川車

大正九年九月廿九日

廿九

丁身家世傳之譜其後其後

一第二之身也

一名之知世之身也

一田一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一保一保一保一保

一 此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

此... 乃... 之... 也

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...



此乃... 治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...

治... 如...



Handwritten title or header in cursive script, possibly including the name 'Shinshu'.

52  
32

信位の上の方の浦首の... 中坊  
上人の代案不審... 上人  
了只此方一書... 上人  
新立家... 下北路... 上人  
仲相様致出... 上人

先

- 一 一書... 上人
- 一 一書... 上人
- 一 一書... 上人
- 一 一書... 上人

一 今... 上人  
勿... 上人  
不出... 上人

一 今... 上人  
... 上人  
... 上人  
... 上人

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or additional notes.

Handwritten text at the top right, possibly a title or header.

いひつらむと申すは、中世の世に於ての事なり

右

一 瑞雲寺の事

一 日蓮の事

一 水戸の事

Handwritten text in the middle right section.

一 聖徳太子の事

一 白河の事

一 多宝塔の事

一 向長ノ事

一 敬ノ事

一 如來ノ事

一 宝篋ノ事

一 列音ノ事

一 心者ノ事

一 山ノ事

一 舟ノ事

一 舟ノ事

一 榮川二也姓為不

一 我輩乳名よりあつた感う、素庵、長部、舟  
行、以、同、路、入、い、こ、ろ、お、名、力、手、金、多、可、友  
評、之、三、選、一、給、路、入、初、い、素、須、書、替、平、和  
上、生、前、路、替、替、減、少、の、如、坐、く、同、可  
紀、生、列、中、也

一 言、書、出、川、中、素、筆、素、院、の、心、也、誠、心、也  
一 言、曰、吾、也

一 同、舟、中、の、楫、法、山、素、筆、素、院、の、下、右、手、也  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、

言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、

言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、  
言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、

一 言、心、也、不、素、筆、素、院、の、心、中、也、同、舟、中、

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Handwritten text on the right page, starting with a vertical line.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.

Handwritten text on the right page, continuing the vertical writing.



Handwritten title or header text, possibly a chapter or section title, written vertically in cursive.

三年、故肥前守中興、公五年、冬、外  
二、五年、抄、元、己、年、午

十一

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

十一

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

一、法、年、故、中、興、公、五年、冬、外

平河地蔵

一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人

吉川跡地蔵石田家系流傳事  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人

一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人  
一 諸所より我地蔵并石一石下人

平河地蔵





十州ノ遺蹟  
52  
40  
三

考曰社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人  
社西屋考近下地信人

三  
十  
行

一  
同  
所  
切  
の  
左  
等  
一  
並  
新  
今  
至  
等  
子  
の  
九  
之  
形  
等  
一

十  
言  
書

一  
而  
同  
考  
不  
能  
考  
り  
以  
の  
切  
り  
の  
左  
等  
一  
並  
新  
今  
至  
等  
子  
の  
九  
之  
形  
等  
一

一  
考  
不  
能  
考  
り  
以  
の  
切  
り  
の  
左  
等  
一  
並  
新  
今  
至  
等  
子  
の  
九  
之  
形  
等  
一

一  
考  
不  
能  
考  
り  
以  
の  
切  
り  
の  
左  
等  
一  
並  
新  
今  
至  
等  
子  
の  
九  
之  
形  
等  
一



大正十一年...

身入云云...

- 一 向例由米十石...
- 一 米石多須...
- 一 時移由之...

廿〇

- 一 米石中...

向例由米...

- 一 米石中...

- 一 米石中...

- 一 米石中...









一 信成子平 夏時節

一 初學在月 夏時節

信成子平 夏時節  
初學在月 夏時節  
信成子平 夏時節  
初學在月 夏時節  
信成子平 夏時節  
初學在月 夏時節  
信成子平 夏時節  
初學在月 夏時節  
信成子平 夏時節  
初學在月 夏時節

信成子平 夏時節

信成子平 夏時節

信成子平 夏時節

信成子平 夏時節

一 信成子平 夏時節

一 信成子平 夏時節

一 信成子平 夏時節

一 信成子平 夏時節

一 信成子平 夏時節



此文書余或事一故年初の事  
初稿一書名由條以合安金之  
不非其名之花池是也如あり  
考宗其一口跡少函及書札上  
不能出之節一以田路者成  
自和事の的其一向於其身出  
之安猪後不其叶申上との事  
然別不之抄題月池の抄時  
之公不有字の事不其是也  
後中つた抄考其依其金海

此作如可之  
其書  
其書

此自文也

一物初其可之可之可之

其書

一 指其或名流刻時其可之可之  
一 上其字中今分名之可之可之  
一 指其可之可之可之可之  
一 切其田山其可之可之可之

三石差下石中 以外多及及下考  
井身六下之 言此元が 此の如く  
乙巳年四月一日

一 本ありて是等所方の 番入上の 中と在り  
女三三

一 甲子不申卯之 臨り余

一 一切正示の 神示 本職任世を 叙 故六石

一 一切酒升之 為 申元 石原の 留る 元七 抽出

勿伸申元 申元 此 申元 申元 申元 申元

計白く 申元 申元 申元 申元 申元 申元

飛下 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元

申元 申元 申元 申元 申元 申元 申元





此等江蘇等處所屬各州府縣

一 去冬于王上蘇林苑等處同筑三兩湖中

一 持功之苑等處同筑三兩湖中

一 以中口等處同筑三兩湖中

一 惠慈寺又本區同筑三兩湖中

一 泗水河等處同筑三兩湖中

一 劫盜與崇石蘇文王上持等

一 壽安縣等處同筑三兩湖中

一 刻文等處同筑三兩湖中

一 不意等處同筑三兩湖中

一 強事一處同筑三兩湖中

一 本之等處同筑三兩湖中

一 書院等處同筑三兩湖中

一 本館等處同筑三兩湖中

此等江蘇等處所屬各州府縣

三兩湖中

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, written on aged paper. The text is written in dark ink and appears to be a single name or a short phrase, possibly "Jean-Baptiste" or similar, though the cursive is difficult to decipher. The writing is slanted and occupies the upper portion of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, written on aged paper. The text is written in dark ink and appears to be a single name or a short phrase, possibly "Jean-Baptiste" or similar, though the cursive is difficult to decipher. The writing is slanted and occupies the upper portion of the page.

52  
Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, written on aged paper. The text is written in dark ink and appears to be a single name or a short phrase, possibly "Jean-Baptiste" or similar, though the cursive is difficult to decipher. The writing is slanted and occupies the upper portion of the page.